

高齢者が詐欺メールを見抜くためのチェックリスト10項目

このチェックリストを印刷して、冷蔵庫や電話機のそばに貼っておくことで、詐欺メール被害を未然に防ぐことができます。ご家族や身近な方と一緒に確認して、安全なインターネット利用を心がけましょう。

No	チェック項目	確認メモ
1	宛名が「お客様」など曖昧	公式メールでは氏名（フルネーム）が記載されることが多いです。
2	「24時間以内に対応」など期限付きの文言	不安をあり、冷静な判断をさせないための手口です。
3	差出人アドレスが公式サイトと異なる	「@」以降のドメイン名を公式サイトと見比べて確認しましょう。
4	本文の日本語が不自然・誤字が多い	機械翻訳の可能性があり、信頼できないメールの特徴です。
5	URLが怪しい（例：.xyz、意味不明な英数字）	本物の企業は公式ドメイン（.co.jp、.comなど）を使用します。
6	説明のない添付ファイルがある	開かずには削除するのが基本です。ウイルス感染の危険があります。
7	ロゴ画像が荒い・不自然	公式サイトからコピーした粗い画像を使っている場合があります。
8	「ログインはこちら」を強く誘導	偽サイトに飛ばしてID・パスワードを盗み取る目的の可能性があります。
9	差出人名が個人名・企業名がない	正規の案内は会社名・部署名・連絡先が明記されています。
10	「本人確認が必要です」など急かす表現	不安を煽る典型的な詐欺メールのパターンです。

出典：まもるネット（<https://mamoruu.net/>）